

り、殊に歐米に於て漸次その製作技術退歩しつゝある時、我國に於ては、歐州戰亂による輸入杜絶以來長足の進歩を遂げ、今やその生産組織は殆んど整備し、従つて、その製品の安價にして堅牢なるを特長として、支那南洋の市場に盛んに輸出されつゝあるのである。

更に一言したきは、これも自轉車税に直接關係なきことではあるが、乗用自轉車の鐵道輸送を會て無貨でなしつゝあつたのを、今はこれに高い運賃を徴しつゝあることも不都合なることである。運搬困難なる斯の長尺のスキー（これはいふまでもなく有産階級の娯樂用品で、足の延長たる點では自轉車に似てゐるが、その用途は全く相反する）の輸送が無貨扱ひを受けるのに比して、その矛盾の甚だしきに、開いた口が塞がらぬ次第である。

## 六、選舉戰と自轉車税

われ／＼は續々として、自轉車税に對し抗議を述べた。併しわれ／＼農民黨の力は今や日に日に充實を加へ、我々の實力によつてこれが撤廢の日を近き將來に望むを得るに至つたことを喜ば

ねばならぬ。われ／＼は第一表に見る如く、われ／＼農民の團結的勢力の強き山梨、新潟、岐阜等に於て、既に減税或は、増税阻止に成功しつゝあるのである。

今や普選による最初の地方議會の總選舉に當り、この自轉車税撤廢運動は、最も具體的實質的大問題であつて、來るべき選舉戰の死命を制する重大問題たることを痛感するのである。

全國四百有餘萬の乗用者諸君！今こそ起つて、我等日本農民黨と相携へ、或は傘下に來りこの惡税暴稅たる自轉車税の撤廢の爲めに猛進せられんことを望み、こゝに、日本農民黨中央委員會に於て議決された決議文を掲げてこの小論を終ることにする。

## 自轉車税輕減並に撤廢決議

自轉車は今や、農民、勞働者、店員、學生、下級官吏等勤勞階級の足の延長である。殊に農村に於て最も簡便なる交通機關として産業の進歩に大なる寄與をなしつゝあるのである。その始め輸入當時娯樂用なりし自轉車はかくて今日では實に生活必需品となつたのである。